

「離島の再生」廃校校舎を水産研究施設に転用(八幡浜市)

【取組概要】

高齢化が進む離島の高齢漁業者を対象とした新たな水産業の振興に取り組むため、高齢者でも運用可能な磯根資源の陸上養殖研究施設を整備。施設整備にあたっては、廃校校舎を利用することで、低コストでの施設整備と地元漁業者が利用しやすい環境づくりを実現。

人口 37,077人

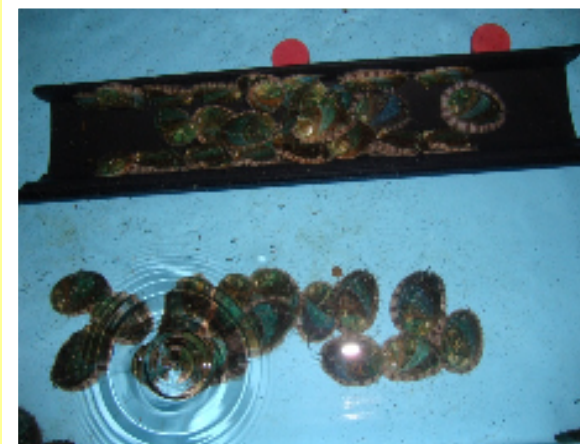
担当部署 水産港湾課

【取組みの効果】

施設建設に要する費用について、上屋の建設費用が不要となったことや各種補助金等を有効活用したことにより、大幅な削減が図れた。施設は24年9月から供用を開始しており、様々な試験研究を重ね、効率的な運用により事業化を検討



(廃校校舎)



(アワビの飼育状況)

【他団体へのアドバイス】

遊休公共施設を活用する際には、補助金の返還や使用目的の説明等、他部署や他機関との調整すべきことが多いため、関係機関と連携を密にしながらか協議・検討を進めていくことが重要。

【創意・工夫した点】

遊休施設の活用によるイニシャルコストの軽減、離島の豊富な地域資源と経験豊かな人材の活用、有利な補助制度や起債の有機的な組み合わせによって、高齢化が進む離島に適応した新たな産業振興の形ができた。